

尾北 HOME NEWS

http://www.homenews.jp

配布区域(江南市、犬山市、扶桑町、大口町、一宮市の一部)

令和6年(2024年)

9月27日(金)

第2166号

毎週金曜日発行

犬山・異校種間連携事業 中学生が大学生から 勉強法など学ぶ

名古屋経済大学犬山
キャンパスで6日に異
校種間連携事業が行わ
れ、犬山市内の4中学

校(犬山、東部、南部、
城東)の2年生が進路
選択や将来のキャリア
について理解を深めま
した。

午前と同キャンパス

を訪れた城東中と南部
中の353人は、全体講義
で将来のために身に付
けておくと良い力や習
慣を学び、職業適性を
知るワークショップに

取り組むと、クラス別
に大学生と交流。大学
2〜4年の経済学部

の
丹羽英智さん、鈴木楓
敢さん、経営学部の川
瀬芽衣さん、柴宜江さ

らとの交流では大学の
授業内容や人間関係、
楽しいことなどについ
て中学生から質問が挙
がりました。

大学では年齢層や授

業の選択の幅が広がり
何に取り組むか主体的
に決められるとの話に、
お薦めの勉強法を聞い
た中学生。川瀬さんは

「まず15分だけ机に向
かう。ゴールを決めて
勉強する」柴さんは自
分が楽しいと思うとこ

ろから覚える」などと
アドバイスし、「中学
生のうちにやっておい



大学生の話を熱心に聴く生徒たち

た方がい
いこと」
に鈴木さ
んは「趣
味を見つ
けておく
と良い」
丹羽さん
からは
「自分が
一番熱中
できるも
のを見つ
けると良
い。自分
の好きな

ものを続けるといつか
花開く」などの言葉が
ありました。
中学生からは「将来
について考える良い機
会になった」「自分よ
り経験を積んでいる人
の話聞き、勉強法な
ど試してみたいものも
見つかった」「ワーク
ショップで自己分析も
でき、自分の能力を生
かせる職業についてみ
たい」などの感想が聞
かれました。